

宇輝人

vol.42



宮川 誠 Miyagawa Makoto

昭和53年生まれ。三角町在住。平成10年JA熊本うきに勤務。平成13年事故で頸椎を損傷。平成18年農産物のインターネット販売を開始。平成21年楽天市場に「産直ばい」をオープン。現在は(有)宮川洋蘭で農家ハンターSHOPの店長を務める。

何ごとにも挑戦を

「やりたいことや夢を見つけたら、挑戦せずにはいられない。明日はどうなるか分からないから」と話すその力強さからは、四肢まひだった過去はとても想像できない。彼は、「命に関わる大きなけがをした影響で、そう思うのかもしれない」と続けた。

21歳の頃、友人たちと出掛けた海水浴。慣れ親しんだ地元の海で頭を強打する不慮の事故に遭い、頸椎損傷という大けがを負った。3カ月間は絶望的な気持ちになったと言う。

しかし、懸命に続けたリハビリ

によって両腕が動くように。車椅子に乗って移動し、車の運転ができるまでに回復した。

その後、ウェブページを作成するための基礎技能を独学で習得すると、28歳のときに県内の農産物を販売する通販サイトを開設。JA熊本うきで働いていた経験と知識を生かし、旬の味覚を届ける商品を全国に販売した。

元々、サッカーや水泳、陸上など何でもできるスポーツ万能少年。体を動かすことが何よりも好きだった。だから、植木町や芦北町、倉岳町など県内中の農場へ直接出向き、生産者への取材や撮影を母のサポートを受けながら行

い、商品の紹介ページを作成した。

「一人で何でも試してみたい」

「でも、できないことは頼るよ」

しかし、増え続ける注文で、高齢の母にかかる負担が大きくなった。親子での運営が難しくなっていた昨年の夏、幼なじみで隣の宮川将人さんに声を掛けられ、イノシシ対策チーム「くまもと農家☆ハンター」のネットショップ店長に就任。これまでの経験を生かし、ジビエや農産物の販売に活躍している。

地域のために

「今の目標は福祉の勉強をして今後に役立てること。できれば資

格も取りたい」と目を輝かせる。

「人と関わってほしいし、生産者の話を聞いていると新しい発見があつてパワーをもらえる。今の仕事でも勉強中。できればもう一度事業も再開したい」と意気込む。

将人さんは「彼が夢を持って、事業主になろうと前向きに生きる姿は、多くの人に希望と勇気を与えている。いつも周りの人のおかげだと感謝する彼の心は、地域の役に立ちたいという利他の精神に満ちあふれている」と賛辞を惜しまない。

地元貢献したいという彼の思いは自身を即行動へと駆り立て、チャレンジ精神に火を灯し続ける。



1. 愛犬モモと共に 2. 戸馳小サッカー部時代(最後列) 3. 三角中でもサッカー部に所属。写真は新春サッカー大会で優勝した時の一枚 4. 現在は店長を務める農家ハンターSHOPのサイト管理を在宅で行っている 5. 地元の素材を使ったかき氷の試作品。写真は巨峰味。地元の規格外農産物の加工販売所を作ることも夢の一つ 6. 戸馳島の牛肉を使ったハンバーガーの試作品